

請求の範囲

- [請求項1] (a) 臍島を10,000 IEQ/mL以上の濃度で含有するアルギン酸ナトリウム溶液Aを調製する工程、
(b) 該アルギン酸ナトリウム溶液を二価カチオン溶液に滴下し、ゲル化した粒子を回収する工程、
(c) 工程(b)で回収した粒子をポリ-L-オルニチン溶液Aに添加し、攪拌後、粒子を回収する工程、
(d) 工程(c)で回収した粒子をアルギン酸ナトリウム溶液Bに添加し、攪拌後、粒子を回収する工程、及び
(e) 工程(d)で回収した粒子をクエン酸ナトリウム溶液に添加し、攪拌後、粒子を回収する工程
を含む、臍島含有カプセルの製造方法。
- [請求項2] 臍島が、生後1～3週齢の幼若ブタから取得した臍島である、請求項1に記載の方法。
- [請求項3] 臍島含有カプセルの平均直径が550～750 μm である、請求項1又は2に記載の方法。
- [請求項4] アルギン酸ナトリウム溶液Aのアルギン酸ナトリウム濃度が1 w/v%以上3 w/v%以下である、請求項1～3のいずれかに記載の方法。
- [請求項5] ポリ-L-オルニチン溶液Aのポリ-L-オルニチン濃度が0.05 w/v%以上3 w/v%以下である、請求項1～4のいずれかに記載の方法。
- [請求項6] アルギン酸ナトリウム溶液Bのアルギン酸ナトリウム濃度が0.1 w/v%以上0.3 w/v%以下である、請求項1～5のいずれかに記載の方法。
- [請求項7] 工程(d)において、工程(c)で回収した粒子を、ポリ-L-オルニチン溶液Bに添加し、攪拌後、回収した後に、アルギン酸ナトリウム溶液Bに添加する、請求項1～6のいずれかに記載の方法。

[請求項8] ポリＬ－オルニチン溶液ＢのポリＬ－オルニチン濃度が 0.01 w/v ／ $v\%$ 以上 0.1 w/v ／ $v\%$ 未満である、請求項７に記載の方法。